



強みのある資本 (2023年3月末時点、2023年3月期のデータ)

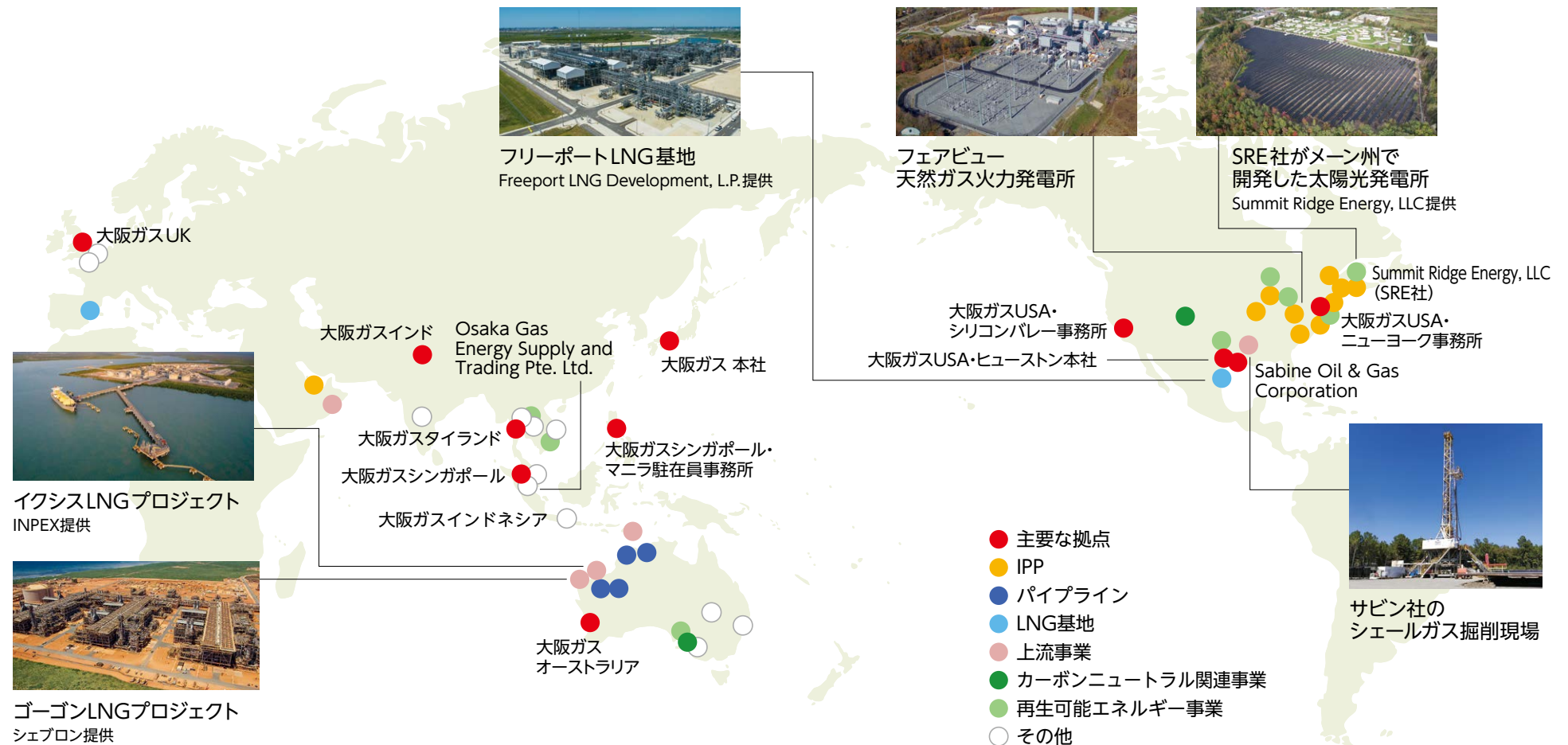
 財務資本	<p>持続的な事業成長を可能にするため、規律ある財務戦略に支えられた強固で健全な財務基盤を有しています。</p>	<p>営業キャッシュ・フロー 335 億円</p> <p>財務健全性 D/E比率 0.71 倍 自己資本比率 49.3%</p>
 製造資本	<p>Daigasグループのお客さまアカウント数は1,000万件を超え、お客さまにガス・電気等のエネルギーを安全・安定的に供給することは最大の使命と認識しています。エネルギー供給のための様々な設備は、当社グループにとって欠かすことのできない資本です。</p>	<p>持分電源容量(運転中) 458.0 万kW (内、再生可能エネルギー77.7万kW)</p> <p>導管総延長 約 63,600 km</p> <p>自社グループLNG船団 9 隻 ガス製造所 2 カ所 中央指令室* *24時間365日の安定供給・保安確保</p>
 知的資本	<p>エネルギー事業で培ったガス合成・触媒に関する技術開発や、LNG受け入れ基地等の設計・建設技術など、様々な技術開発の知見を保有しています。また、知的財産権を重要な経営資源と位置づけ、事業戦略、技術開発戦略と連携した権利の確保と活用に積極的に取り組んでいます。</p>	<p>特許保有件数 2,885 件 研究開発費 96 億円 □□ P.10</p>
 人的資本	<p>中長期的な企業価値向上のためには非連続なイノベーションを生み出すことが重要であり、その原動力となるのは多様な個人の掛け合わせと考えています。従業員一人ひとりのエンゲージメント向上による持続的な成長を目指します。</p>	<p>従業員数 21,017 人 従業員意識調査 総合4指標を適正水準に維持 □□ P.54</p>
 社会・関係資本	<p>当社グループは幅広い事業分野のステークホルダーと接点機会を持っています。多様なステークホルダーと対話と協働を行い、相互の信頼関係を構築するとともに、ステークホルダーとの共創を通じて自社グループのソリューションやイノベーションに一層磨きをかけ、価値を生み出し、その成果を分かち合っていきます。</p>	<p>お客さまアカウント数* 約 1,002 万件 □□ P.39 *都市ガス、電力、LPG、エネファーム、住ミカタ・サービス、ユーティリティエージェン特契約等の延べ契約件数</p> <p>内、低圧電気供給件数 約 170 万件 内、ガス供給件数 約 500 万件 サービスチェーン数 約 200 店舗 ステークホルダーの皆さまとの共創関係</p>
 自然資本	<p>天然ガスは限りある資源と認識し、効率・効果的な利用に努めるとともにエネルギーの安定供給、保安の確保のため、エネルギー源の多様化を進めています。天然ガスと再生可能エネルギーの有効活用により、“S+3E*”の実現を目指します。 *S+3E：安全性(Safety)、安定供給(Energy security)、経済効率性(Economic efficiency)、環境性(Environment)</p>	<p>天然ガス資源 (LNG取扱量:10,608千t) 再生可能エネルギー (再生可能エネルギー普及貢献量:211.0万kW) □□ P.32</p>



海外のエネルギーインフラ

海外エネルギー事業では、トランジション期に重要な役割を果たす天然ガスの安定調達・供給と普及拡大に努めるとともに、再生可能エネルギーや新エネルギー領域、カーボンニュートラル実現に向けた事業等の取り組みを強化しています。

■ 海外エネルギー事業の投資の状況 (2023年3月末時点)



※海外エネルギー事業の投資案件については、[「ファクトブック」](#)をご覧ください



国内のエネルギーインフラ

Daigasグループでは、都市ガスの普及拡大と安定供給能力向上のため、計画的にガス導管網を整備・拡充しています。関西地方を中心とした都市ガス事業に加え、全国での再生可能エネルギーの開発・獲得を拡大させるとともに、培ってきた強みを活用し、全国で競争力のあるインフラ構築とサービスの提供を進めます。

■ Daigasグループの都市ガスサービスエリア (2023年3月末時点)



■ 国内の主なエネルギーインフラ (2023年3月末時点)

